

出張医学教育FD (こころの医療センター駒ヶ根)

【日 時】 平成27年7月1日(水) 17:00-17:30

【場 所】 県立こころの医療センター駒ヶ根

【参加人数】 18名

【内 容】

○信州大学の新しい臨床実習

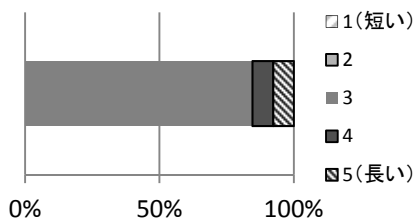
- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について
- ・臨床実習の指導医

○学生の評価について

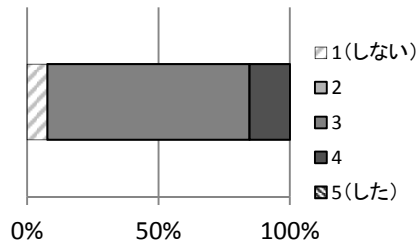
- ・ポートフォリオについて



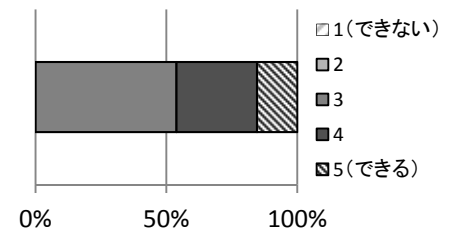
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
評価の方法	精神科の具体的な技術のトレーニングが必要	学生も頭が良いので、せっかくポートフォリオを作っても、他人のものをまねて写す可能性は大きいのでは？せっかく一生に一度の大学生活、その後は休みなしで働くので、もう少し負担を減らした方が、頭でっかちにならないと思います。
いろいろと大変だと理解できました。	他国では大学を卒業後すぐ働けるとのことですが、医師自体が不足しているためではないですか？少なくとも先進国(ヨーロッパ)は日本と同様に指導の下、投薬治療を行います。	
ショーケースポートフォリオが今後多くの場で必要になるということ。(複数意見有。)		
医師の教育についても充実していると感じました。もっと態度面等の教育もお願いしたいと思います。	実際に配属された場合に、正確に評価できるほど行動を一緒にできるのか。	日本の臨床教育が変わって来ているのがよくわかった。
評価方法の具体例があり、わかりやすかった。	ショーケースポートフォリオとは、実際にはどんなものか。	
新しい評価方法の導入について。		
学習レポートの意味が理解できた。		